
12月の物語

旅人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

12月の物語

【Nコード】

N7989P

【作者名】

旅人

【あらすじ】

ネットの海の底で呟く、12月にまつわる小さな物語。

双子座流星群

「今夜の空をきみも見てるだろうか。星が降っているよ。
『流れ星に祈ると願いが叶う』そう教えてくれたね。

ああまたひとつ、星が流れた…

どんなに遠く離れていても、心はいつもそばにいるよ。

きみと、きみを取り巻く全ての人が今幸せでありますように。

今は遠いきみのために、俺が星空に祈る」

そう言っただけか遙かな空の下で祈ってくれた。

ぼくは忘れない。ぼくもみんなのために祈るよ。いつでもそばにいる。

クリスマススイブ

今夜は特別な夜だ、とその人が言った。

特別？ってどういう意味？と訊ねると、今夜は大切な人と過ごす夜なのだ。

「じゃあ早く帰らないと」

そう言つとその人はくしゃつと笑い、僕の髪をかき混ぜるように撫でた。

息は白く、触れあふ指先も凍えて冷たい。

冬空には星の煌めきが、心には仄かな灯火がある。

(後書き)

お読みいただき、ありがとうございました。

「双子座流星群」についてのおことわりです。

この項の前段は2008年9月頃の、某掲示板の書き込みの内容です。オリジナルを探してみたのですが、見つけれませんでした。なにぶん古い記憶なので、内容は諸処違っているかも知れません。当該掲示板住人と他ならぬ本編の主人公たる「非実在少年」への、愛のこもったメッセージだったと思うので、今回使わせていただきました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7989p/>

12月の物語

2011年10月8日13時52分発行